

恵那市での取り組み

恵那市みらいビジョン2045
自然とともにひととまちが輝く
活気あふれる恵那

ICTでむすぶまちづくり研究所は
【スーパーマーケット＋新聞販売店とのコラボ】で
持続可能な地域社会をつくります
(エコシステムで公費に依存しない支援体制)

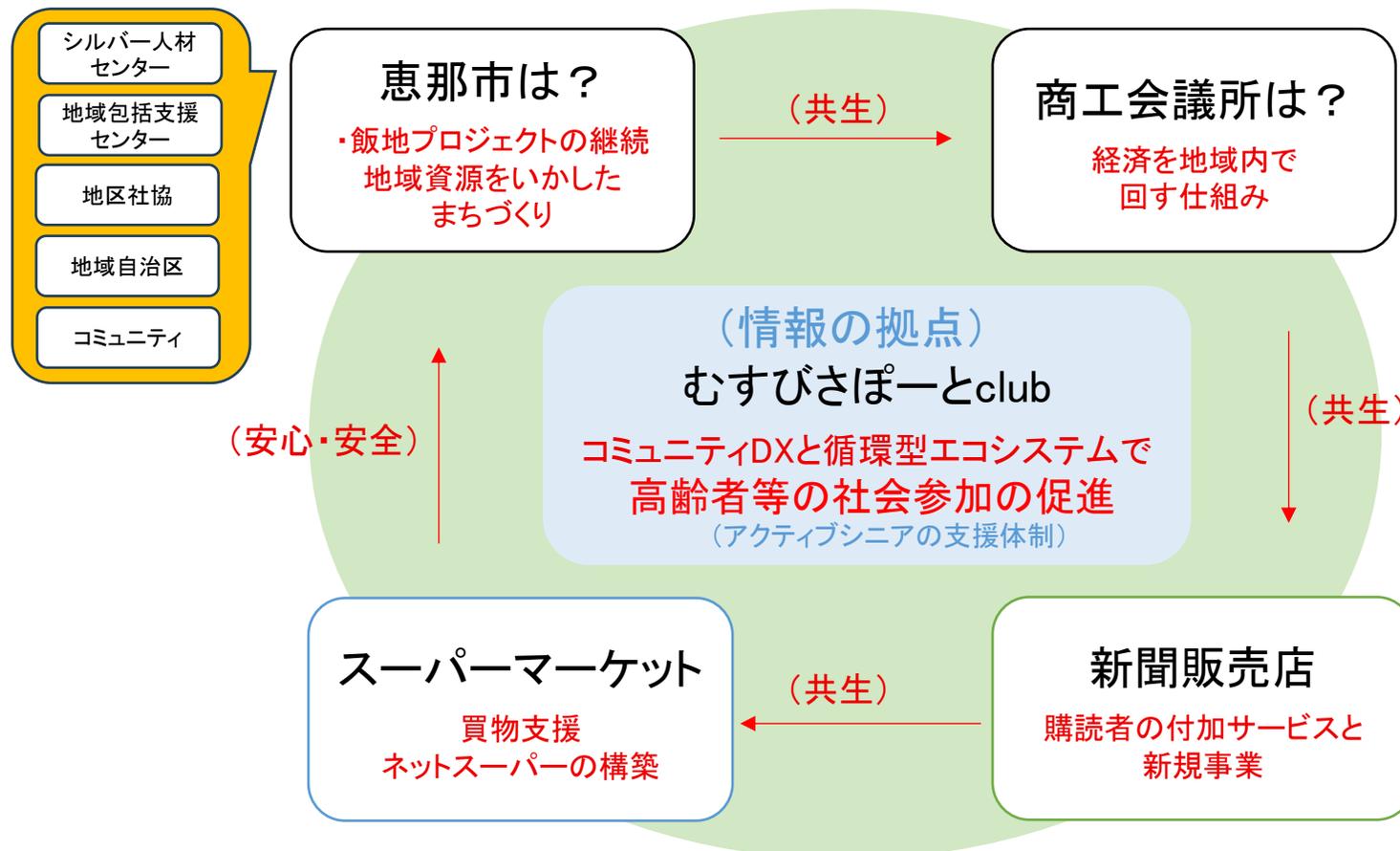
2025. 10. 31

中日新聞多治見販売店会
むすびGroup
ICTでむすぶまちづくり研究所

20年後の子供たちのための ICTと人的資源の有効活用

地域共創プラットフォームは

地域活性化を目的として地方公共団体、地域企業、大学、住民などの多様な主体が連携し、データや知識を共有(DX化)・活用するためのデジタル基盤や仕組み



むすびさぽーとclubは、中日新聞販売店とむすびGroupが、安心・安全なまちづくりを推進するために、各分野（医療・福祉・通信分野、地域事業者等）との連携で、ソーシャルビジネスモデルをつくらせようと活動する団体です。相互扶助(互酬)のまちづくりを進めます。

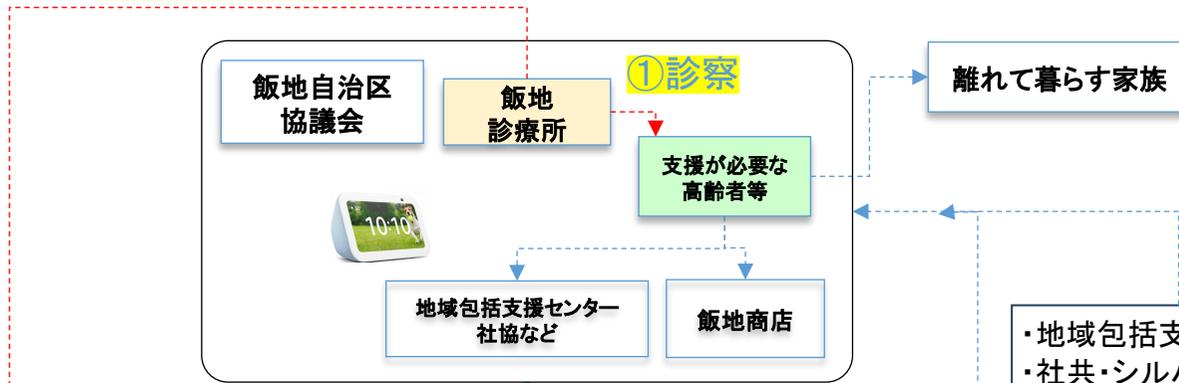
ICTの有効活用と人的資源で変わる支援体制

スーパーマーケットと新聞販売店が考えた、新しいバリューチェーンとサプライチェーン

※1

※2

②処方箋(送信)



※1 バリューチェーン(オンライン服薬指導)
企業が製品やサービスを生み出す過程を「価値の連鎖」
※2 サプライチェーン(買物支援)
原材料の調達から製品の製造、物流、販売を経て、消費者の手に届くまでの一連の流れ

高齢者等の社会参加の促進事業 (アクティブシニアの支援体制)

まごころ(ちょこっと)サポート(中日新聞購読者)
まごころ(ちょこっと)奉仕は(市民の皆さん)

- ・地域包括支援センター
- ・社共・シルバー人材S
- ・まちづくりNPOなど
- ・福祉関係施設
- ・地域コミュニティ

①困りごと依頼

②困りごと解決

③服薬指導の段取り

④調剤の配達

「お困りごと窓口」

+

むすびさぽーとclub恵那

地域活動は

無償のボランティアでは
地域活動が難しいから

地域活動に対する

費用(地域活動)対 効果(適正な収入)が
生れる仕組みをつくります



多治見商工会議所様へご提案

共創から生まれる 「長生きを喜べる社会」の実現に向けて

中日新聞販売店の配達ネットワークを活かした
高齢化社会に対応する新サービス

社会課題の
解決

+

経済的な
成果

スーパーマーケット+新聞販売店とのコラボで
持続可能な地域社会を
バリューチェーン「価値の連鎖」と
サプライチェーン「供給の連鎖」の組み合わせ

全国のモデルとなる仕組み構築を
多治見でチャレンジ



中日新聞多治見販売店会
むすびGroup

ICTでむすぶまちづくり研究所 産・官・学連携の支援体制が地域を変える



「なぜ! エコシステムなのか!」
ICTでむすぶまちづくり研究所 所長 石田芳弘
犬山祭保存会会長
長生きを喜べる社会をつくるためには、相互扶助が生まれるコミュニティが必要だと考えます。
インターネットという破壊的なイノベーションによる生活様式の変化は、超高齢社会に多くの課題を生み出しました。それが、無縁社会という社会現象です。
「祭り」は「相互扶助・共存共栄」の原点。
共同体システム=エコシステムは、「共感や絆、思いやりという共同体の助け合いの原理が埋め込まれている」から、現代社会における役割があり「保存するだけでなく、地域社会のために役立たせるべきだ」と考えています。



所長 石田芳弘

私は「長生きを喜べる社会」という言葉が好きです
国立長寿医療研究センター名誉総長 大島伸一
この言葉は、小泉元首相が二期目の所信表明演説で使用された言葉です。小泉首相は「長生きを喜べる社会」とはどんな社会なのか、その時その後も詳しく触れることなく政権を終え、私には不満でしたが、実際にはその答えは当時も今も誰も解っていないというのが正解でしょう。日本に生まれ育ち、そして老い死んでゆく、より多くの方が人生を終るときに、いろいろあったが「長生きしてよかった」と言えるような社会とはどんな社会なのか。
持続可能な地域社会は、多様な関係者のみな様のご協力と相互連携の体制、新たな取組でご自身の強みを発揮していただき、地域支援活動などの費用を応分のご負担をお願いすることができれば、持続可能なコミュニティが生れると思っています。



名誉総長 大島伸一



「長生きを喜べる社会」をつくるためには、公的関係者・コミュニティ・民間事業者が連携できる支援体制で、医療・調剤・福祉関係者と一緒に、地域ごとに「信頼のおける関係者」が運営する、気軽に相談できる支援体制が必要です。

ICTでむすぶまちづくり研究所は、新しい地域の仕組みの指針を作ろうとあつまった経済・医療・介護・通信・などの有識者団体です。

いのち輝く未来社会のデザイン

恵那市みらいビジョン2045は、地域資源を活かしたまちづくり

・朝日新聞 記事 一人暮らしの高齢者に「お薬飲んだ？」スマートスピーカーが見守り
寺西哲生2024年4月16日 18時40分（一部抜粋）



[恵那市みらいビジョン2045](#)

飯地地区の175世帯に「[スマートスピーカー](#)」を設置する実証実験が始まった。

増加する一人暮らしの高齢者を支えるためにデジタル技術を活用する試みという。



実験は2年後の3月末(2026年3月31日)まで。恵那市は今後、オンライン診療など、サービスの拡充も検討していくという。

ICTでむすぶまちづくり研究所(P7)は

20年後の子供たちのために

(いまから2045年までの20年間)

地域共創プラットフォームをつかって、

中日新聞販売店とまちづくりNPOが[ハブ\(情報の拠点\)](#)となりお困りごと解決のエコシステムを構築します



超高齢社会におけるICTの有効活用は必須

医療・介護・健康分野での活用は人材不足の解消やサービスの質向上に不可欠です

- ◆ 飯地町には、オンライン化や最新技術の導入によって、買い物支援・生活支援・作業支援、IoT機器の有効活用でオンライン服薬指導による調剤の配達など、市民のニーズに沿った多様なサービスの提供できる環境が整っています。

恵那市飯地町で
防災機能が搭載された「スマートスピーカー」を活用



人的資源の活用で
運用ルールを作れば
有効利用が出来る



バロー(買物支援、ネットスーパーの構築)

～ラストワンマイルを制する者が市場を制す～

売上高1兆円も見えてきた！
岐阜発のスーパー「バロー」が“自前主義”を貫くワケ

<https://diamond.jp/articles/-/374822>



バローグループの特徴をひと言で表現すると、「自前主義」と言えます。川上から川下に至るプロセスを内製化することで、利益の残り方を自分たちでコントロールしていく戦略です。

「利は元にある」ではありませんが、最終出口である「店」を強くするためには、その裏側にある仕組みをきちんと構築することが大事になります。

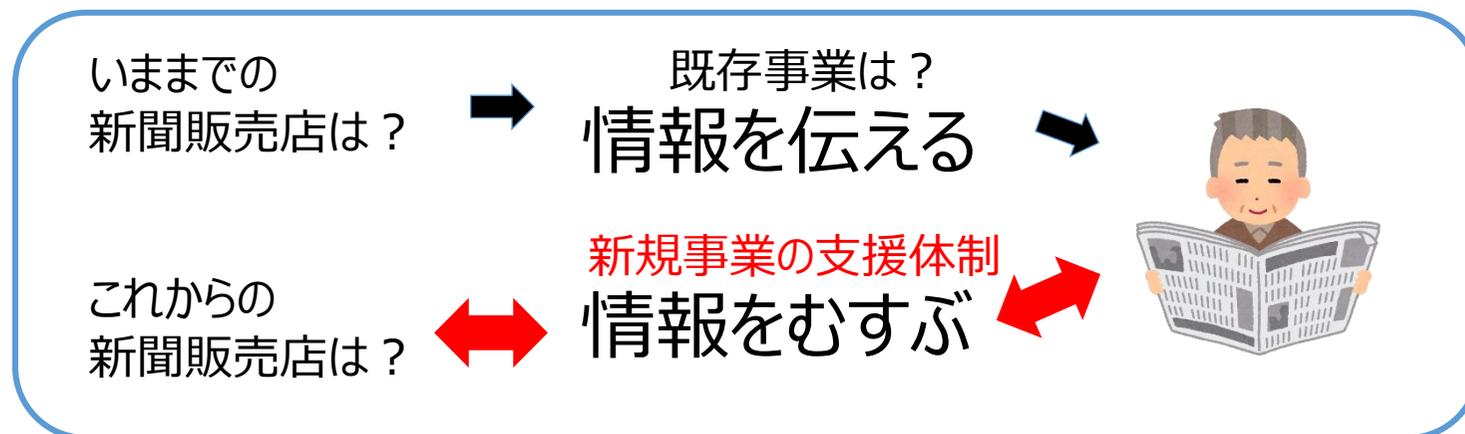


最後の区間だから利益は少ない・・・でも
むすびさぽーとclubの複合的事業(P15)で収益を確保

新聞販売店は、地方創生のキーマン

新聞販売店は、

ラストワンマイルの支援体制(地域に密着した強固なネットワーク)と、
高齢化社会における「見守り機能」という重要な役割を担っています。



ICTでむすぶまちづくり研究所は、
地域の多様な関係者と地域共創プラットフォームを作って
地域貢献活動から収益事業をつくります

購読者減を埋める 新規事業をつくります

信頼のおける地元の関係者だから、安心・安全

地域資源の有効活用

「新聞販売店」と「まちづくりNPO」が

地域の皆さんが気軽に相談できる
「お困りごと窓口」をつくります

中日新聞購読者の
みなさんの
日々の生活の「困りごと」
集めます・聞き取ります・解決します

お困りごとを
誰が解決できるか
分からない

支援が必要な
皆さん

どこに
解決需要があるか
分からない

地元関係者

2025年5月31日～
多治見市内の一部へ折込で案内開始

地域連携で支援
将来的には新聞販売店で出来ないような
お困りごとも市内のパートナー事業者につな
いで解決してもらおうような循環システムの構
築や、地方に於ける地域力（福祉）の向
上にお役に立てられたらと考えています。
あーる.くらぶ通信 2025年6月号より

商工事業者(困りごとの「地産地消」で地域貢献から収益事業)

むすびさぽーとclub
どんな体制(活動)なの?

公費に依存しない地域の支援体制

渋沢栄一
論語(哲学)と
算盤(商売)
それが、エコシステム
(相互扶助)



新聞販売店をハブにした
お困りごと解決のエコシステム

無償のボランティアでは
地域活動が難しいから
地域事業者の皆さまに
地域活動費を(ご協賛)いただき

地域貢献活動から
地域活動費の捻出と
収益事業

エコシステムから得られる
仲介手数料を原資とした、
ボランティア支援含む
地域活動支援体制

仲介手数料を
地域活動費に使います
※手数料は別途お打ち合わせ

地域への貢献
(活動に協賛)

地域活動費(協賛)
11万円(税込)/年
担当地域がスタートしてから1年間

地域事業者に
新たな
仕事が生れる

※ご協賛期間は1年です(以降の継続も可能です)

ご協賛(ご支援)のお返しはP11~14

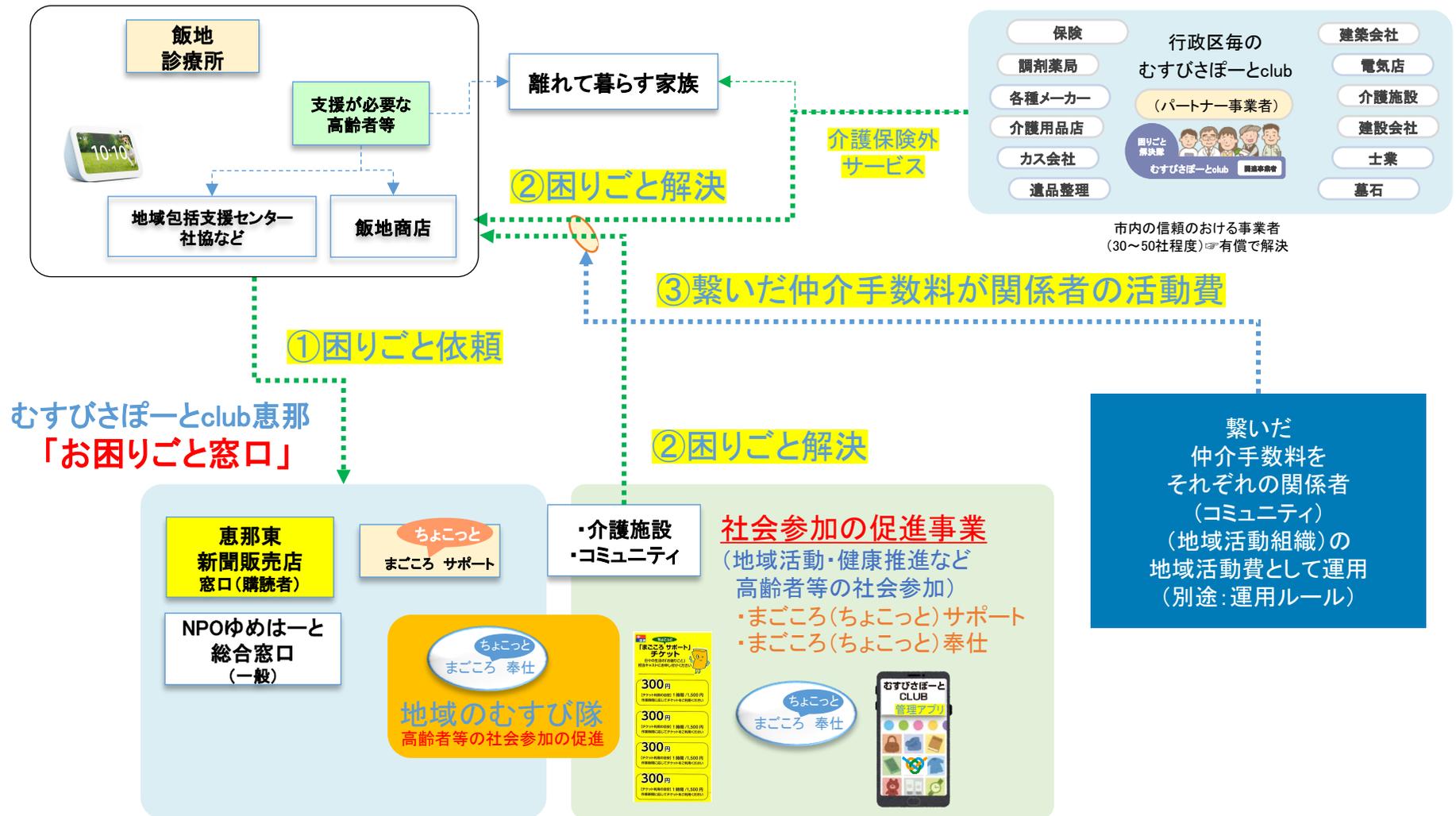
※エコシステムとは、地域課題の解決と経済活性化を目的として、企業、行政、大学、地域住民、NPOなどの多様なプレイヤーが連携し、それぞれの強みを生かして持続可能な循環を創造する仕組み

むすびさぽーとclub恵那 (潜在的なニーズの拾い出し)

むすびさぽーとclubは、「ICTでむすぶまちづくり研究会」の行動指針を、行政区ごとに展開する活動組織です。

情報の拠点から生まれる 地域貢献活動から収益事業

新聞販売店や介護関係者
コミュニティが出来ない困りごと



活動によって得られるもの(リターン)

相互扶助の支援体制

市内の「困りごと」は、市内の関係者で解決
優先的に、お困りごとを協賛企業にお願いします

(むすびさぽーとclub規約に準ずる)

社会貢献による企業イメージ向上・・・**介護離職の抑制**

・パートナー企業の社員の皆さんやご家族の福利厚生にも繋がります

SDGs対応 → CSR/ESG活動として活用可能

社会参加の促進・・・就労支援
(地域活動・健康推進など、高齢者等の社会参加)

SDGs(持続可能な開発目標)の理念
「誰一人取り残さない」地域支援の体制をつくります。

市民向け
生活支援サービス

・観光を絡めたまちづくり
・テクノロジーの活用

官民連携モデル
(コミュニティ)

環境・防災など
(一次産業支援)

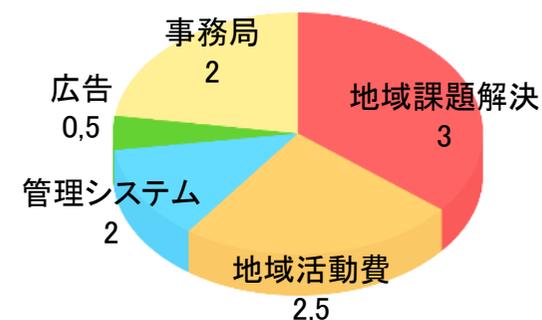
新聞は、
学習や思考の深化につながる

👉 **未来の子供たちを育てる・・・
あかるい未来の日本を創る**

・NIE※(教育に新聞を)活動を通じて、
子供たちの社会への関心を高め、
課題解決に向けた行動力を育みます。



多様な課題解決のために
支援(協賛)頂いた
地域活動費の運用比

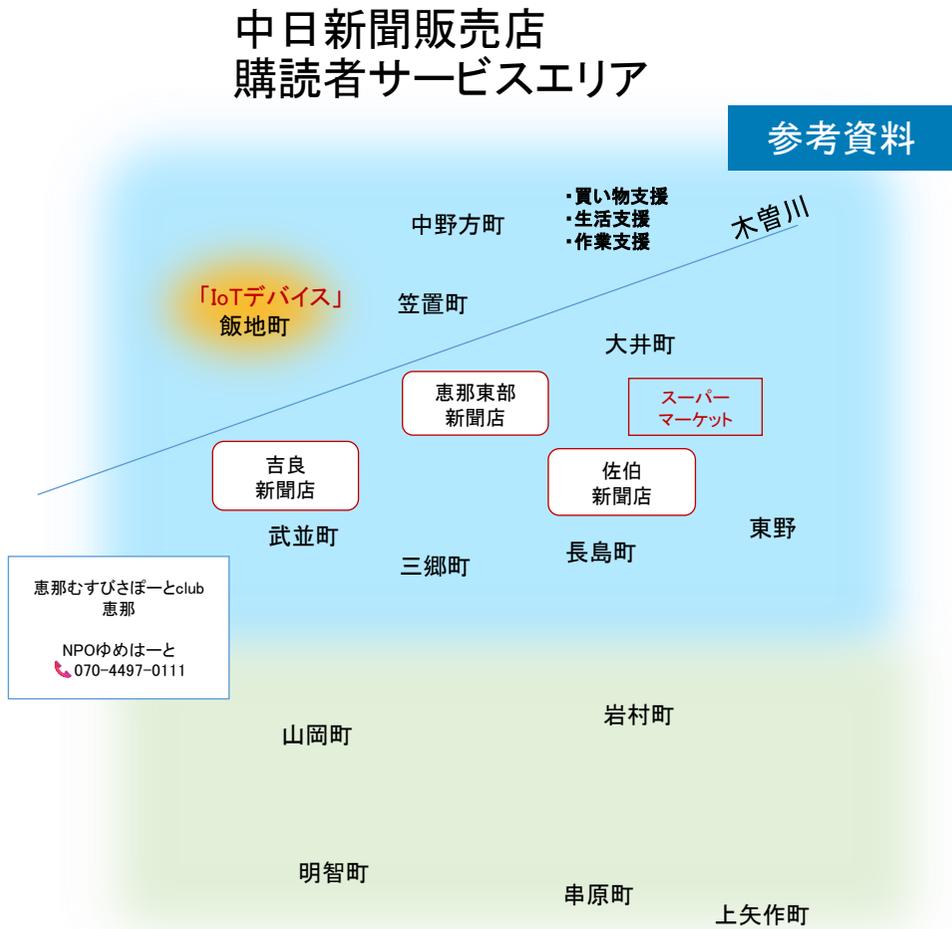
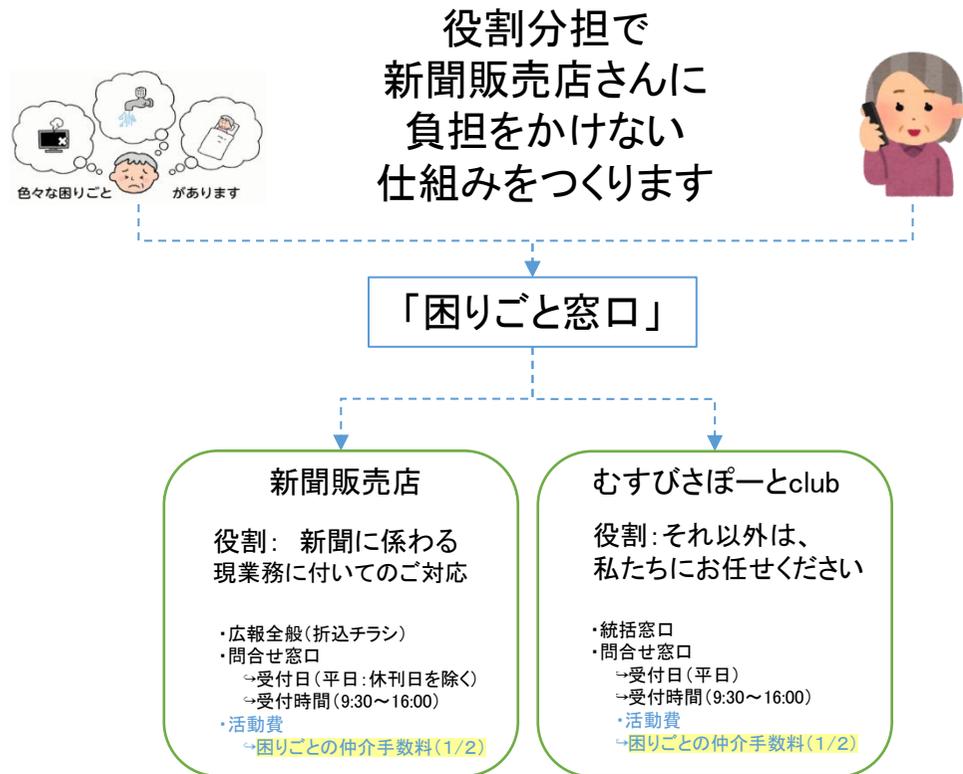


※NIEとは、学校等で新聞を教材として活用し、興味や関心の幅を広げる社会運動であり、教育手法である。

役割分担 サービスエリア図

むすびさぽーとclubの活動は！
地方創生の
仕組みづくりしたい・・・から

企画・運営は、
私たち(むすびGroup)に
お任せください



※サービスが提供できる店舗から始めます。

信頼のおける市内事業者の支援体制

むすびさぽーとclubの支援体制は？

※ソーシャルビジネスモデル

地域活動を「チラシを配布する」(年4回を予定)ことで
「困りごと」情報活動をアナウンス
地域への貢献と、むすびさぽーとclubメンバーが営業マン

中日新聞販売店による読者の安否確認サービスが進化 中日新聞定期購読者向け

み・まも〜る + プラス

恵那地区中日新聞販売店の
日々の生活の「困りごと」開設
ご相談窓口
高齢社会生活支援サービス
「まごころサポート」
を始めました!!

中日新聞が提供する無料の読者安否確認サービス
み・まも〜るとは
中日新聞では、「毎日、配達する新聞がポストから抜かれているか」で、ご家族の安否を確認する無料サービスを行っております。見守ってほしいご家族等が中日新聞をご購読されれば誰でも加入可能です。

中日新聞の無料、読者安否確認サービス「み・まも〜る」に加え、日々の生活の「困りごと」を解決する相談窓口を開設しました。それが「み・まも〜るプラス」(有料サービス)

「まごころサポート」
「困りごと」解決の相談窓口
「まごころサポート」
「困りごと」解決の相談窓口

お近くの中日新聞販売店にご相談ください!!

買い物支援
「困りごと」を解決するお助けを大歓迎!!
生活支援
作業支援

お問い合わせ相談窓口
お近くの 中日新聞販売店
み・まも〜るプラス恵那
「まごころサポート」
TEL.0573-26-1345 (土日祝除く 10:00~16:00)

中日新聞 佐伯新聞店
〒509-7201 恵那市大井町 2106-9
TEL.0573-26-1345 (土日祝除く 10:00~16:00)

恵那地区中日新聞販売店会

み・まも〜るプラス
新聞販売店の
高齢社会生活支援サービス
「まごころサポート」
「困りごと」解決の相談窓口
地域の絆づくりプロジェクト
地域支援グループ
むすびさぽーとclub

(協力店のシール)

恵那市にお住まいの皆さん!

「まごころサポート」+ 地域連携サービス
安心の地元事業者の支援体制
むすびさぽーとCLUB 恵那

むすびさぽーとCLUB からのご案内
電球交換やお家の掃除、お買い物などの簡単なものから、プロのサービス提供や専門家のご紹介まで、皆さまの日常生活の「困りごと」を気軽にご相談ください!
むすびさぽーとclubのスタッフが
お手伝いします。

いつまでも元気に…長生きを喜べる地域社会を目指した取り組みです。

むすびサポート CLUB は、安心の地元事業者のご支援で活動しています。

(株)アイギハウジング	建設業	さきゆり薬局	調剤薬局
(株)エナ機構	重機作業	シャレーゼ(恵那店)	菓子販売
Kanekuコーポレーション	介護サービス	セントラル建設(株)	建設業
ケイナクグリーン(株)	生活環境サービス	ソナ保険企画	保険業
中日新聞恵那販売店会	新聞販売店	東海神栄電子工業(株)	電子部品製造
(株)チェリー東濃	車検・整備	ヤマグチ建設(株)	建設業

お気軽にご相談ください

お問い合わせ
センター
〒509-7123
岐阜県恵那市三郷町野井 2106 番地2
TEL 070-4497-0111

紹介の
相談
窓口
working めぐみ
〒509-7205
岐阜県恵那市長島町中野 1205 番地の72
TEL 0573-32-1382

地域の絆づくりプロジェクトの地域支援活動「むすびさぽーとclub」は、関係者のご協賛とご支援で選定し、産官学連携で地域の支援体制をつくる活動を進めています。

み・まも〜るプラス
新聞販売店の
高齢社会生活支援サービス
「まごころサポート」
「困りごと」解決の相談窓口
地域の絆づくりプロジェクト
地域支援グループ
むすびさぽーとclub

(協力店のぼり)

複合的支援体制で収益事業をつくります

新規事業

将来的に
ドラッグストアや、調剤薬局から調剤の配達をしたい

まずは、実績を!!
生活用品の配達から

「まごころ サポート」
チケット
日々の生活の「お困りごと」
担当キャストにお申し付けください

300円
[チケット利用の目安] 1時間 / 1,500円
作業時間に応じてチケットをご利用ください

「買物支援」

バロー

ネットスーパーを軌道に乗せたい

新規事業の支援体制は？

行政区毎につくる
むすびさぽーとclubに
お任せください



むすびさぽーとclubは
「困りごと窓口」をつかって
複合的事業の構築
新規事業をつくります

配達の単独事業で
利益を生み出すのは
難しいから
複合的事業をつくる

ラストワンマイルの
複合的事業

- ①生活支援サービス収入
 - ②新規購読者の獲得
 - ③サブスク (IoT機器等)
- ・将来は、調剤の配達
・繋がりをビジネスに

①サービス収入

生活支援サポート
買い物支援・困りごと解決

- ・自社で出来る
支援収入
- ・仲介手数料
地域の仲介料の 1 / 2

②新規購読者を獲得

見守り新聞配達サービスで
独り暮らしをサポート

- ・新規購読者
介護施設や、民生委員と連携して、
見守り新聞配達サービスの普及に
務める

③月額利用料 (サブスク)

IoTデバイス (センサーなど)
独り暮らしの見守り

- ・センサー利用料 (月額)
- ・オンライン診療のサポート
- ・

市民へのサービス内容の明確化

介護保険サービスと保険外サービスとを明確化

ボランティア活動の線引きを明確にし、利用者にも事前に十分に説明する仕組みをつくります。

中日新聞
購読者様向けサービス

施設などと連携した
介護保険外支援サービス

あなたの「チカラ」が、
街を元気にする

保険サービスと保険外サービスは
同時・一体的には提供できない
…のが現状

施設などの利用者さんの
介護保険外サービスとして活用



コミュニティや
介護施設などで利用
(地域通貨を目指す)
むすびさぽーとclub

多くの地域の皆さんと
繋がりが出来れば
多くの依頼事が集る

パートナー企業に
依頼

新聞販売店の
繋いだ
仲介手数料

新聞販売店用
(管理費)
1/2

むすびさぽーとclub
(地域活動費)
1/2

地方を救う ソーシャルビジネスモデル

私たちの地域から、一緒に創りませんか？

- むすびGroup(NPOゆめは一と)は、どこかのイチ組織が頑張るだけでは追いつかないから、新しい地域のカタチを創ろうと集まった専門家集団が、地域のみんなが参加できるシステムを進めています。(中間支援組織として活動)
- 「ICTでむすぶまちづくり研究所」は、安心・安全なまちづくりを推進するために、各分野(医療・福祉・通信分野)の有識者でICT(センサーなど)の有効活用とDXの推進で相互扶助(互酬)のまちづくりを進めます。
- むすびさぽ一とclubは、「ICTでむすぶまちづくり研究会」の行動指針を、行政区ごとに展開する活動組織です。

- お問い合わせ先:むすびGroup
- ☎ 052-930-0055
- 📍 名古屋市東区葵三丁目1-23-3
- 🌐 <https://ict-machidukuri.org/>
- むすびさぽ一とclub 本部(NPOゆめは一と)
- ☎ 070-4497-0111
- 恵那市三郷町野井2106番地2

